

五十鈴の風

平成20年10月発行
発行：市立伊勢総合病院

安心していただける医療を

- 院内各科紹介・・・・・・・・放射線科
- 院内トピックス①・・・・・・・・病院まつり
- 院内部署シリーズ・・・・・・・・嚙下（えんげ）チーム
- 院内トピックス②・・・・・・・・健診システムを更新しました
- 健康メモ・・・・・・・・かぜをひいた時の全身麻酔について
- 放射線室通信・・・・・・・・放射線室における造影検査
- 栄養管理課だより・・・・・・・・カルシウム・鉄分たっぷり栄養士おすすめメニュー
- 院内トピックス③・・・・・・・・院内食堂がリニューアル



「神馬参進」 宮村 正典氏 撮影

事務局だより

皆様から「五十鈴の風」の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局(総務課 下村)までお願いします。

市立伊勢総合病院 の 基 本 理 念

患者様の立場より
病院機能の立場より
地域医療の立場より

愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
良質かつ高度の医療
円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療



最新型高磁場MRI装置

当院では、多上、笹岡、初瀬、二見の4人の放射線科医が診療にあたっています。放射線科医の主な仕事は、各種画像検査の読影、カテーテルを用いた血管内からの病気の治療、放射線を照射することによる腫瘍の治療です。

画像の読影については、検査の結果を文章にまとめ、依頼医に伝達しています。当院の場合、読影はCTとMRI検査が主体で、いずれも一人の放射線科医が検査室に常駐して、検査の指示・監督を行い、検査終了後できるだけ迅速・正確に、結果を伝えるように努めています。

カテーテルによる治療については、事前に検査担当看護師と共に患者さんの診察を行い、適用・手技・合併症等の説明を十分行って、安心して治療を受けていただけるようにしています。

放射線治療については、最先端の治療法であるIMRT（強度変調放射線治療）を県内で唯一行っており、院内のみならず、県内各所からの患者さんに対し治療を行っています。詳細は、五十鈴の風24号および、当院ホームページをご覧ください。
(放射線科科長 多上智康)

院内トピックス 「病院まつり」を開催します



市立伊勢総合病院では、病院を地域の皆様に知っていただくとともに、皆様との楽しい交流を目指して、「みんなでつくろう 地域とともに歩む病院」をテーマに「第5回病院まつり」を開催します。ぜひお越しください。

- と き: 11月8日(土) 午前9時45分~午後2時30分
- と ころ: 病院 1階ロビーほか
- 内 容: バザー、整形外科・神経内科・産婦人科・耳鼻いんこう科・麻酔科・各医師の講演、病院体験ツアー、喫茶コーナーなど
(看護部長 中西梅子)



● 昨年の病院まつりの様子 ●



今回は、嚥下チームについて紹介します。
「食べる」ということは、生きていく上で不可欠なことです。

普段、食べることやお茶や牛乳などを飲むことを当たり前のように行っていますが、病気や老化により、食べること（摂食）、飲み込むこと（嚥下）の力が弱くなり、食事や水分がとれなくなってしまうことがあります。

私たちは、患者さんにもう一度口から食べてもらいたいと願い、このような症状の患者さんに、口を動かす体操（声を出したり、口をすぼめたり、ほっぺを膨らませたりなど）や顔や首のマッサージ（口の周りの筋肉をほぐしたり、首を振ったりするなど）の訓練を行っています。また、医師・栄養士と一緒に、その患者さんに合った食べやすい食事について、話し合いをもち相談を受けています。

（看護師長 岡 やよい）



院内トピックス

健診システムを更新しました



健診センターでは、本年度より開始された特定健康診査に対応し、人間ドックなど健診結果の早期発送を更にすすめるため健診システムを更新しました。

今日、特定健康診査を始めとして健診結果の電子データ化が必須となっており、それに伴う情報保護対策も大切になっています。今後、本システムを核として、よりわかりやすく見やすい健診結果の作成、特定保健指導への対応など、健診サービスの更なる向上をセンター関係者一丸となり進めて参ります。

（健診センター室 中村 宏）



かぜ（急性上気道炎）などで発熱、せき、痰（たん）があるときは、全身麻酔で手術をすると、手術中や手術後の合併症の危険が大きくなります。

かぜをひくと、のど・鼻や気管・気管支といった肺に向かう空気の通り道（これらをまとめて気道といいます）が過敏な状態になります。過敏な状態の気道に手術や麻酔で刺激が加わって、気道の通りが悪くなったり痰が増えたりします。かぜやたばこによって痰が多い場合や肺の悪い人では、

肺炎の危険性が高くなります。かぜは軽いものでも肺炎をひきおこす危険性が高まります。

また、気道の過敏な状態はかぜの症状がなくても4～6週間続きます。急を要する手術はしかたがありませんが、通常は手術を延期するほうが安全です。かぜをひいてしまったときには、手術をしないことの危険性とすることの危険性を検討して、手術当日でも手術を中止・延期にさせていただくことがあります。より安全に麻酔を受けていただくためなので、どうぞご理解ください。

（麻酔科医師 木下智史）



放射線室通信

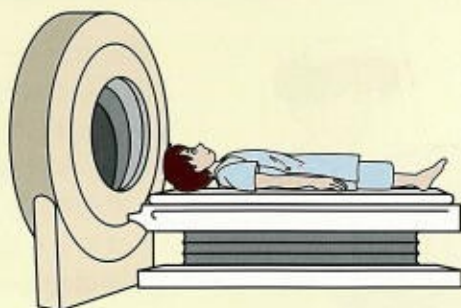
放射線室における造影検査

放射線室で検査を受ける場合に造影剤を用いた検査をすることが多々あります。

造影剤とは検査を行う臓器や病変部を描出するために用いられるもので、消化管検査ではバリウム、泌尿系（腎臓、尿管、膀胱）の検査ではヨード系の造影剤を使用します。以上の造影剤はCTや透視等、X線を使った検査を行う場合に使用され、MRI検査では、常磁性のガドリニウムや鉄などが使用されます。

X線を使った検査ではX線を吸収させることで周りの臓器とのコントラストをはっきりさせることで、臓器を観察し、病変部をわかりやすくします。MRI検査では、造影剤が周囲のプロトンとの相互作用により病変部と周りの臓器とのコントラストをつけ、診断に役立ちます。

最近の造影剤は改良を重ね、副作用の出る確率も少なくなっています。造影検査は、専門の医師や看護師が立ち会って行いますので、造影検査をすすめられた場合も安心して検査をお受けください。





栄養管理課だより



カルシウム・鉄分たっぷり 栄養士おすすめメニュー

切り干し大根のはりはり漬け

材料(4人分)

切り干し大根	14 g
干しひじき	6 g
人参	30 g
きゅうり	20 g
生姜	8 g
酢	20 g
しょうゆ	20 g
砂糖	大さじ1
だし汁	20cc

作り方

- ①切り干し大根は、さっと洗って熱湯をかける。
- ②干しひじきは、もどして2～3分ゆでる。
- ③人参、きゅうり、生姜は、せん切りにする。
- ④調味料を合わせて、①②③をつけこむ。

※30分くらいでも食べられるが、一晩つけておくとよい。
常備菜に。



牛乳餅

材料(4人分)

牛乳	260 g
片栗粉	60 g
砂糖	60 g
きな粉	40 g

作り方

- ①牛乳、片栗粉、砂糖をなべに入れてよく混ぜ、火にかける。
- ②固まってきたら火から下ろし、食べやすい大きさに分けて、きな粉をまぶす。



院内トピックス

院内食堂がリニューアル



院内食堂が新しくなりました。地産地消をコンセプトに、宮川の清流と、茶葉等の有機栽培で育った契約農家のお米や有機肥料で育った玉子、豆腐、野菜など、地場の安心食材を取り入れたメニューを用意しました。せいぜいご利用ください。

◆営業時間 午前10時～午後3時

(キャリアオン 高橋洋子)

